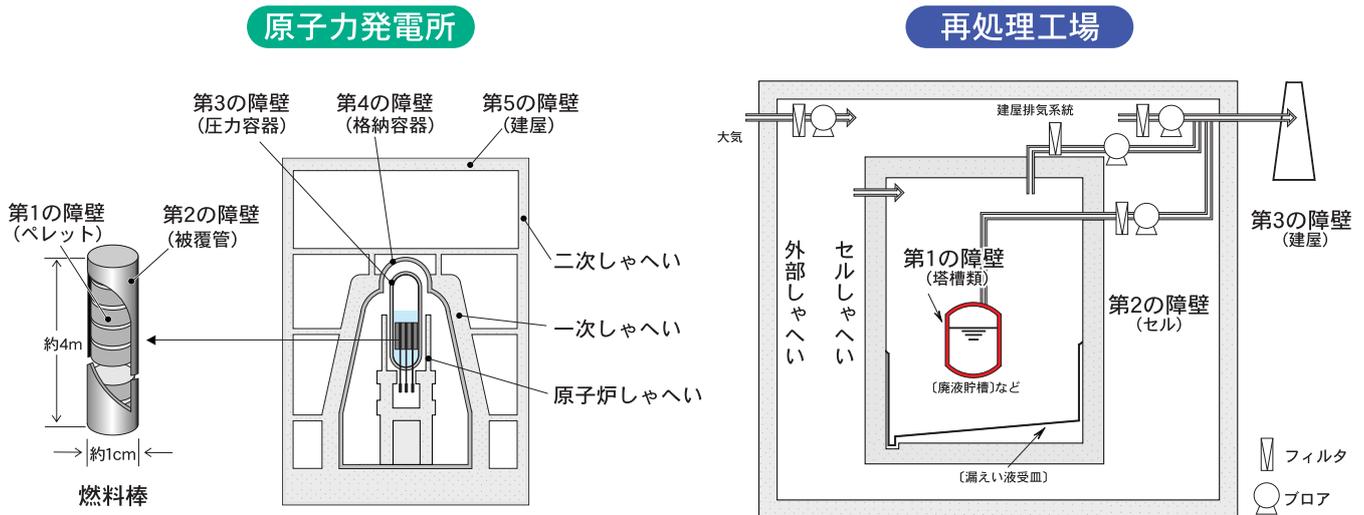


# 放射線安全管理

原子力施設では、一般公衆や放射線業務従事者の受ける放射線の量を安全管理基準以下に抑えるため、以下のような安全管理を行っています。

## 放射線のしゃへいと放射性物質の閉じ込め

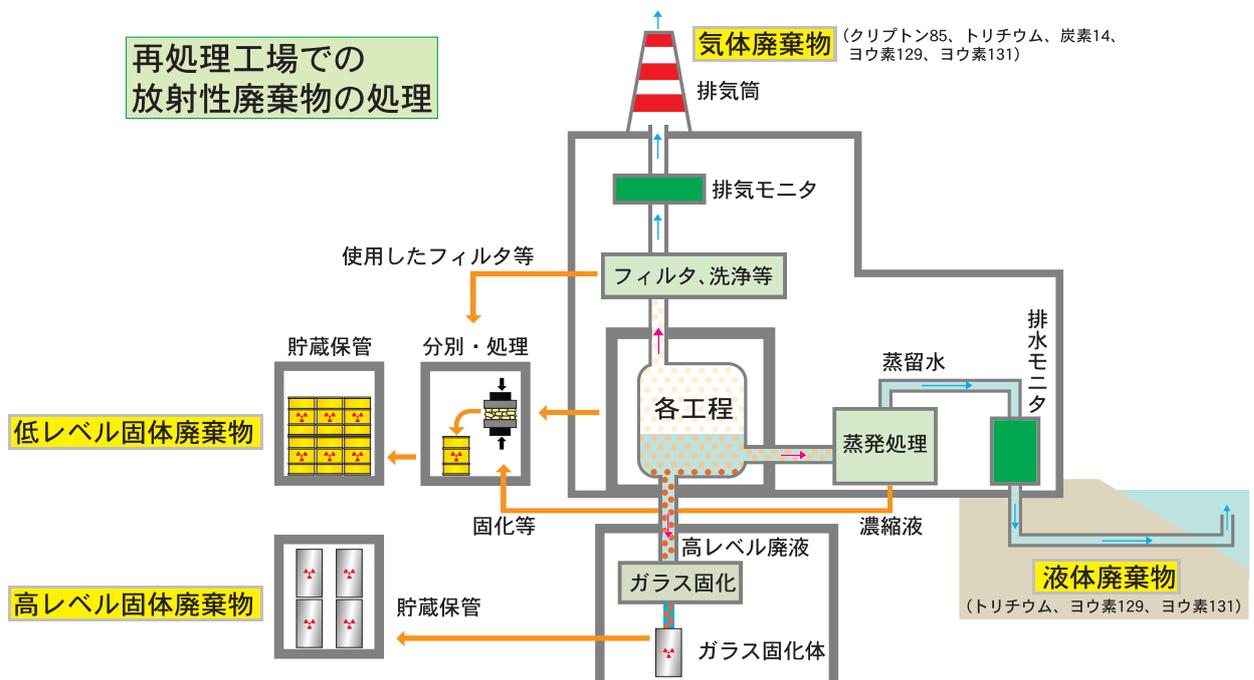
放射線が外部に出ないようにしゃへいするため、周囲を厚いコンクリート壁などで覆っています。また放射性物質が外部に出ないように、何重もの障壁で閉じ込めています。



## 放射性廃棄物の処理・処分

原子力施設の運転に伴って、放射性物質を含んだ廃棄物が生じます。気体と液体の廃棄物は、放射性物質を取り除くなどの処理を行って、放出管理目標値を超えないように管理して排出します。固体の廃棄物は、圧縮・焼却などの処理を行って減容し、容器に入れて保管した後、地中にコンクリート等で覆って埋設されます。

核分裂生成物などを含む高レベル廃液は、ガラス固化されて、保管されます。



## 環境中の放射線・放射性物質の監視

原子力施設から排出された気体と液体の放射性物質は、環境中を拡散しながら移動し、その一部が農畜産物や水産物に移行します。

環境中の放射性物質や放射線に異常がないかを監視するため、空気中や地面の放射性物質から発生する放射線の量を測るとともに、空気や土、野菜や牛乳、水や魚などに含まれる放射性物質の量を測っています。



### 被ばく線量評価の基礎調査

再処理工場の運転に伴い環境中に放出される放射性物質のうち、農畜産物や水産物にどの程度の量が行移・蓄積し、最終的に人がどの程度の放射線を受けるかを、精度よく予測する計算モデルを作成するため、必要な調査研究が行われています。